

大学教務実践研究会第9回大会 分科会1a

教務系業務とDX

～できることからはじめよう～

2021年12月11日
東京都公立大学法人
東京都立産業技術大学院大学管理課長
宮林 常崇

本分科会では、**学内に導入されている既存のシステムを活用して「事務職員の手で明日からできることは何か」**を考えることで、教務系業務におけるDXをより身近に考えるきっかけとします。

まず香川大学情報メディアセンター DX推進部門 部門長として学内のDX化を推進されている八重樫先生にご講演いただきます。この講演では、香川大学が「教職学協働」で大学のDXを「Microsoft365で自分たちができることからDXを実現する」として実践されている事例をご紹介します。講演の内容を踏まえ、職場で「明日から何をするか」を検討するためのワークショップを行います。

【分科会の構成】

1 基調講演 《資料は申込者のみ配付》

香川大学創造工学部 八重樫 理人 教授

2 休憩

3 ワークショップ

・ 個人振り返り

・ グループワーク（ブレイクアウトルーム 1部屋4名程度）

4 クロージング

3 ワークショップ

<個人ワーク（3分間）>

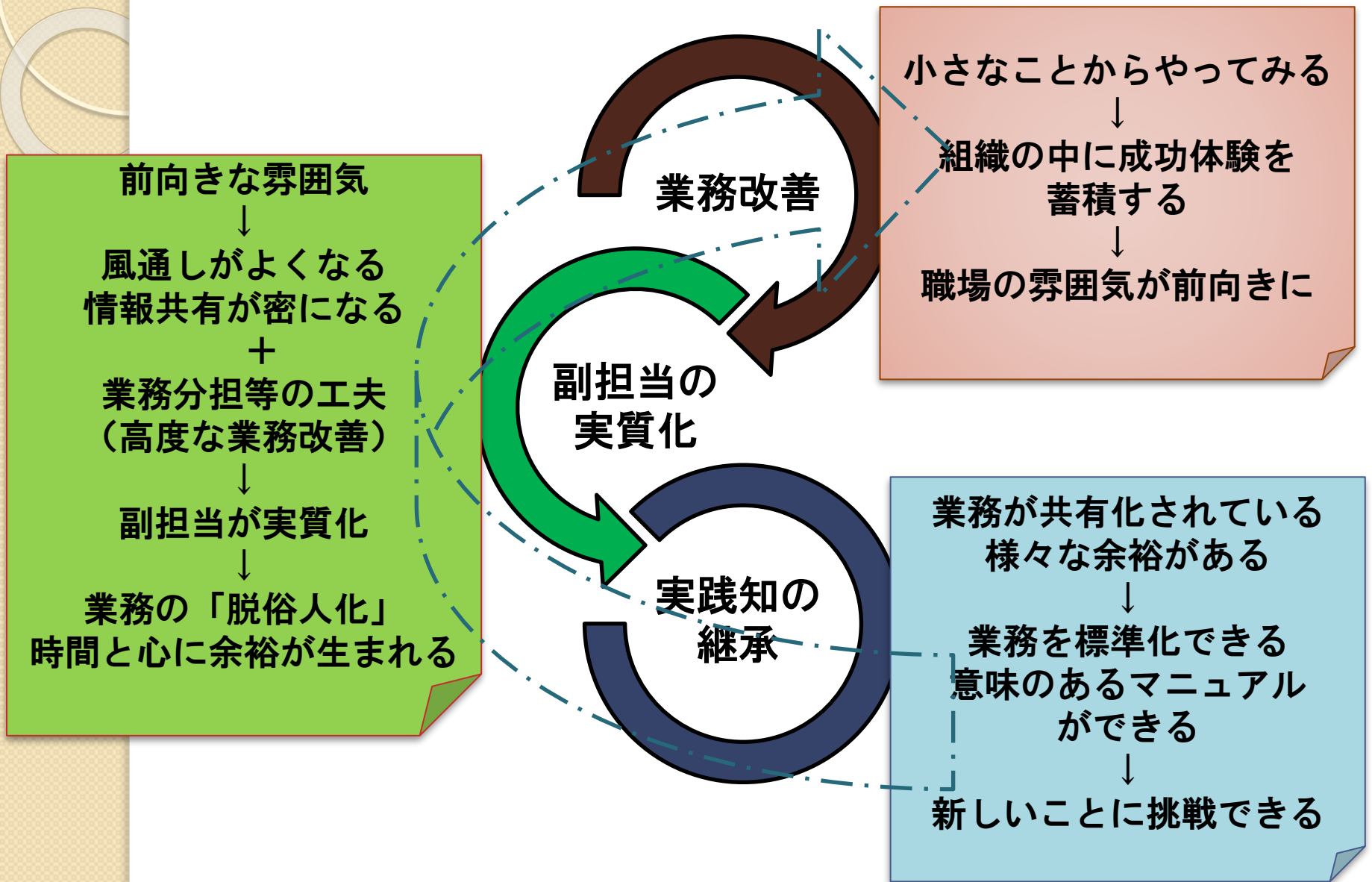
Q1とQ2は、基調講演の内容を踏まえて、事前準備の回答のブラッシュアップをしてください。

Q1 学内に導入されている既存のシステムを活用した業務改善の事例を教えてください。

Q2 学内に導入されている既存のシステムを活用して業務改善をするにあたり障壁になっていることを教えてください。

Q3 Q2の障壁を克服する方法を考えてみましょう。

4 クロージング



【この後の予定】

12:00～12:30 個別質問＜希望者のみ＞

- ・ 基調講演の講師はいません。
- ・ 分科会担当者（宮林ほか）と参加者で、大学事務組織における業務改善の課題やその改善方法について意見交換をする場として開放します。

16:10～17:00 交流会＜希望者のみ＞

- ・ 基調講演の講師はいません。
- ・ この時間は、参加者間で「教務系業務とDX」をテーマとして意見交換をする場として開放します。
- ・ 分科会担当者は在室しますが、あくまでシステム管理を行うのみです。
- ・ 在室者が0名になった時点で、クローズします。

【本分科会に関するお問い合わせ先】

東京都公立大学法人 宮林

miyabayashi-tsunetaka@jnj.tmu.ac.jp